

成紀七三五年三月

刑事訴訟法中一部改正ノ件草案

司法部刑事科

QPCARD 10

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

刑事訴訟法中一部改正ノ件草案

目次

第一章	政府機構ノ改革ニ伴フ改正	一
第二章	検察機構ノ改革ニ伴フ改正	四
第三章	訴訟手續ノ簡略迅速強化ヲ圖ル爲メノ改正	二〇
第四章	審判手續ノ規定ニ關スル規定ノ改正	二七
第五章	裁判方針ノ自由	三一
第六章	證據方法ノ自由	三三
第七章	嚴格規定ノ緩和	三六
第八章	關席判決手續	四三
第九章	沒收手續並沒收ノ執行ニ關スル規定ノ改正	四七
第十章	其ノ他ノ改正	五〇

刑事訴訟法中一部改正ノ件

第一章 政府機構ノ改革ニ伴フ改正

第一條

刑事訴訟法第四條第三號ニ「國交ヲ妨害スル罪」トアルヲ「政府ノ
對外國係ヲ妨害スル罪」ニ
同法第三百三十四條、第六百六十六條第二項ニ「國家ノ利益」トアルヲ
「政府ノ利益」ニ改ム

改正

「海陸運輸法」ニ於テ
同法第百三十四條ノ第六十六條附設二條ニ「陸路ノ運輸」イタルヲ
陸路運輸ニ就テスルヲ
附設ニ「陸路ノ運輸」イタルヲ「海陸運輸」ニ
附設ニ「陸路ノ運輸」イタルヲ「海陸運輸」ニ

第一章 海陸運輸ノ運輸ニ於テ第五
陸路運輸中ノ陸路運輸ノ運輸

第二條

刑事訴訟法第五條第二項ニ「中華民國領域外ノ中華民國艦船又ハ
航空機内」トアルヲ「蒙古聯合自治政府領域外ノ蒙古聯合自治政
府艦船又ハ航空機内」ニ改ム



第一條

第二章 檢察機構ノ改革ニ伴フ改正

刑事訴訟法第三條、第十六條、第三十六條、第五十二條第二項、第六十三條、第六十七條第一項、第八十六條、第八十七條、第九十二條第一項第二項、第一百五條第三項、第九十九條、第一百九條第二項、第一百五十二條乃至第一百五十四條、第六十條、第七十條、第八十二條第一項第二項、第八十五條、第八十八條第二項、第九十一條第一項、第九十二條第一項、第九十五條第一項、第九十九條第一項、第一百零七條、第一百二十五條、第二百一十一條、第二百二十三條、第二百二十六條、第二百二十八條乃至第二百三十條第一項、第二百三十三條、第二百三十四條第一項、第二百四十條、第二百四十二條、第二百四十三條、第二百四十四條第一項、第二百四十六條、第二百四十八條第一項、第二百五十條、第三百十五條第一項第二項、第三百二十二條第一項

長「ニ」監督官署「イ」マ「ニ」監督官署「ニ」マ
西事補局表第百二十二號第一頁「ニ」長文書「イ」マ「ニ」監督官署

第三百二十三條第二項、第三百二十四條、第三百二十八條第一項第一
二項、第三百三十六條第二項、第三百三十九條、第三百四十八條、
第三百七十五條第二項、第四百三十條第一項、第四百四十二條第一
項、第四百四十四條第一項、第四百四十五條、第四百五十九條第一
項、第四百六十三條、第四百六十四條、第四百七十一條、第四百七
十二條、第四百七十三條第一項、第四百七十四條第一項、第四百七
十七條、第四百七十八條、第四百七十九條第一項、第四百八十二條、
第四百八十三條、第四百八十五條、第四百八十六條、第四百八十八
條ノ規定中「檢察官」トアルヲ孰レモ「檢察廳」ニ改ム

第二條

刑事訴訟法第十五條ニ「一檢察官」トアルヲ「一檢察廳」ニ「該管
他ノ檢察官」トアルヲ「該管他ノ檢察廳」ニ「共同ノ直接上級法院
ノ首席檢察官又ハ檢察長」トアルヲ「直接上級檢察廳」ニ
同法第七十條ニ「原檢察官」トアルヲ「原檢察廳」ニ
同法第八十五條第三項ニ「檢察長或ハ首席檢察官」トアルヲ「檢察
廳長」ニ
同法第二百三十五條ニ「原檢察官」トアルヲ「原檢察廳」ニ「直接
上級法院首席檢察官或ハ檢察長」トアルヲ「直接上級檢察廳」ニ
同法第二百三十六條第一項及第二項ニ「原檢察官」トアルヲ「原檢
察廳」ニ同條第二項ニ「上級法院ノ首席檢察官或ハ檢察長」トアル
ヲ「直接上級檢察廳」ニ同條第四項ニ「原法院ノ首席檢察官」トア
ルヲ「原檢察廳長」ニ
同法第二百三十七條ニ「上級法院首席檢察官或ハ檢察
長」トアルヲ「上級檢察廳」ニ「原法院檢察官」トアルヲ「原

同法第四百六十一條第一項、第三項ニ「裁判官」イマハ
「最高裁判官」イマハ「最高裁判官」ニ
同法第四百三十五條ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」ニ
同法第四百三十四條ニ「最高裁判官」イマハ「最高裁判官」ニ
同法第四百三十一條ニ「最高裁判官」イマハ「最高裁判官」ニ
同法第四百三十條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十九條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十八條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十七條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十六條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十五條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十四條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十三條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十二條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十一條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二十條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十九條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十八條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十七條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十六條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十五條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十四條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十三條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十二條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十一條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一十條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百九條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百八條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百七條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百六條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百五條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百四條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百三條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百二條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ
同法第四百一條第一項、第二項ニ「裁判官」イマハ「最高裁判官」イ

法院對置ノ檢察廳ニ

同條第二項ニ「上級法院ノ檢察官」トアルヲ「上級法院對置ノ檢察
廳」ニ

同法第四百八十條ニ「最後ノ住所地ノ地方法院ノ檢察官」トアルヲ
「最後ノ住所地ノ地方檢察廳」ニ「該法院」トアルヲ「對置法院」ニ
同法第四百八十一條ニ「最後ノ判決ノ法院ノ檢察官」トアルヲ「最
後ノ判決ノ法院ノ對置檢察廳」ニ夫々之ヲ改ム

第三條

刑事訴訟法第二十六條第二項ニ「所屬首席檢察官或ハ檢察長」トアルヲ「所屬ノ檢察廳長」ニ、同條第三項ニ「首席檢察官ノ回避」トアルヲ「地方檢察廳長及高等檢察廳長ノ回避」ニ、「直接上級法院ノ首席檢察官或ハ檢察長」トアルヲ「直接上級檢察廳長」ニ改ム

第一項ニ「地方檢察廳長及高等檢察廳長ノ回避」トアルヲ「所屬首席檢察官或ハ檢察長」トアルヲ「所屬ノ檢察廳長」ニ改ム
第二項ニ「首席檢察官ノ回避」トアルヲ「地方檢察廳長及高等檢察廳長ノ回避」ニ改ム
第三項ニ「直接上級法院ノ首席檢察官或ハ檢察長」トアルヲ「直接上級檢察廳長」ニ改ム

「會意」の字は「會」と「意」の二つで成る。「會」は「合」の聲、
「意」は「義」の聲。此の二つの字を合して「會意」といふ。
「會意」の字は「會」と「意」の二つで成る。此の二つの字
を合して「會意」といふ。

[illegible]

刑罰訴訟法第五十五條第一項ニ「檢察官」トアルヲ「檢察廳」ニ同

條第二項ニ「各級法院」トアルヲ「各級法院及檢察廳」ニ

同法第六十條ニ「法院或ハ檢察長首席檢察官或ハ檢察官ノ許可」トアルヲ「法院或ハ檢察廳」ニ「法院ノ牌示處」トアルヲ「法院或ハ

檢察廳ノ牌示處」二

同法第九十一條ニ「較近ノ法院」トアルヲ「較近ノ法院或ハ檢察廳」

同法第六十四條ニ「其ノ所在地法院」トアルヲ「其ノ所在地法院
或ハ檢察廳」ニ

同法第九十六條ニ「法院ニ向ヒテ」トアルヲ「法院或ハ檢察廳ニ向ヒテ」ニ

同法第百九十條第一項ニ「檢察官」トアルヲ「檢察廳」ニ「法院外」トアルヲ「法院或ハ檢察廳外」ニ改メモ改ム

第六條

刑事訴訟法第百八十一條ノ規定中其ノ第二項ニ「法院ニ向ヒテ」ト
アルヲ「法院或ハ檢察廳ニ向ヒテ」ニ改メ且第三項トシテ左ノ規定
ヲ置ク
「第百七十七條ノ二ノ準備又ハ措置ヲ講スル爲特ニ要シタル費用ニ
付キ亦同シ」

改正ス

第七條

刑事訴訟法第六十八條第一項ニ「檢察官ノ命令」トアルヲ「檢察廳
ノ命令」ニ「該聲請ヲ管轄スルノ法院」トアルヲ「該聲請ヲ管轄ス
ルノ法院或ハ檢察廳」ニ改メ且第六十九條ニ代フルニ左ノ規定ヲ以
テス

「第六十九條 原狀回復ノ申請ハ申請ヲ受ケタル法院又ハ檢察廳ニ於テ補行シタル訴訟行爲ト併合シテ之ヲ審査ス若シ原審法院又ハ原檢察廳其ノ申請ヲ許可スヘキモノト認ムルトキハ意見書ヲ附シテ其ノ案件ヲ送リ上級法院又ハ上級檢察廳ニ於テ併合シテ審査ス申請ヲ受ケタル法院又ハ檢察廳ハ原狀回復ノ申請ニ付キ審理ヲ完結スル迄原裁判又ハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得」

「此洞窟一處ノ定安ヲ教ヘニ當リモハ筋差廻ハ道程ヲ細キニイリ與
シテ其ノ難望ヲ避ケ
ヤシ「前樂育ノ命令」イテハ「前樂育ノ命令」ニ對シ且第三隊イ
テ續洞ノ玄ニ升ルニ「前百十海王ノ前百大樂ノ前百大樂」ヲ以
テ前洞ノ端ヲ越ヘ二十一日前第一洞ニ「前百十海王ノ前百大樂」イテハ

十條
 刑事訴訟法第六十五條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改正ス
 「第二項 前項ノ罰金ヲ科スル處分ハ法院ノ裁定或ハ檢察廳ノ命令ヲ
 以テ之ヲ爲ス」
 「第三項 前項ノ裁定又ハ命令ニ對シテハ不服申立ヲ爲スコトヲ得」

此處ニテハ
 檢察官ノ裁量ニ依リ
 科スルコトヲ得

OPCARD 10

刑事訴訟法第六條第二項ノ規定ヲ左ノ如ク改正ス

「前項ノ場合ニ於テ若シ各事件數個ノ法院ニ發着スルトキハ各法院ハ檢察廳ノ請求ニ因リ裁定ヲ以テ一ノ法院ニ併合スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ各法院ノ裁定一致セサルトキハ各法院ニ共通セル直轄上級法院ハ檢察廳ノ請求ニ因リ裁定ヲ以テ一ノ法院ニ併合スルコトヲ得」

第十二條

刑事訴訟法第八條但書ノ規定ヲ左ノ如ク改正ス
「但シ共同ノ直接上級法院ハ檢察廳ノ請求ニ因リ裁定ヲ以テ後ニ審
議シタル法院ヲシテ審判爲サシムルコトヲ得」

第一
本條ノ規定ハ檢察廳ノ請求ニ因リ法院で裁き一ノ審議ニ終止スルコトイ
フ旨ニ據テ各級法院ハ裁定一應サシムルハ各級法院ニ終止スル旨
ハ各級法院ノ請求ニ因リ決定スルコトイフ旨一ノ審議ニ終止スル旨
一審議ノ請求ニ因リ決定スルコトイフ旨各級法院ハ各級法院ニ終止ス
ル旨各級法院大審議ニ因リ裁定スル旨各級法院ニ終止スル旨

國々及ハ世通リヤヤ非時假セヤハ山ヨリヤ一
 一處々共ニ直達土邊與洞ハ無業處ハ關東ニ因リ給家ヲ以テ邊ニ據
 既事種地也後ハ給給會ハ其家ヲ主ハ成ハ近五ニ

刑事訴訟法第九條第一項第十條ノ規定中「左列情形ノ一アルトキハ」ナル字句ノ次ニ「檢察廳ノ請求ニ因リ」ナル字句ヲ第九條第二項中「其ノ管轄法院ヲ定ムルコト能ハサルトキハ」ナル字句ノ次ニ「最高檢察廳ノ請求ニ因リ」ナル字句ヲ同法第十一條ノ規定中「書狀ヲ以テ理由ヲ敘述シ」ナル字句ノ次ニ「檢察廳ヲ經由シテ」ナル字句ヲ挿入ス

[illegible]

第三章 訴訟手續ノ簡略、迅速強化ヲ圖ル爲メノ改正

第一條

刑事訴訟法第八十二條ノ規定中「被告所在地ノ檢察官ニ囑託シ」トアルヲ「被告所在地ノ法院、檢察廳、軍法官署又ハ司法警察官ニ囑託シ」ト

改×

「該檢察官ハ其ノ所在地ノ檢察官ニ轉囑託スルコトヲ得」トアルヲ「囑託ヲ受ケタルモノハ受託ノ權限アルモノニ轉囑スルコトヲ得」ト改メ且第二項トシテ「囑託ヲ受ケタル者ハ勾引狀ヲ發スヘシ」ナル規定ヲ置ク

第二條

刑事訴訟法第百八條第一項ノ規定ニ代フルニ左ノ規定ヲ以テシ同

條第二項ノ規定中

「偵査中ハ一回限リトス最モ重キ本刑カ三年以下ノ有期徒刑以下ノ刑ナル場合ハ審判中三回限リトストアルヲ削ル

「第一百八條第一項 被告ノ勾留ハ捜査中ハ二月ヲ逾ユルコトヲ得
ス 審判中ハ三月ヲ逾ユルコトヲ得ス 但シ法院及檢察廳ハ勾留
ヲ繼續スル必要アルトキハ期間満了前法院ノ裁定又ハ檢察廳ノ命
令ヲ以テ之ヲ更新スルコトヲ得」

第三章 明治年間の通關、通商、通關手続、通關手続、通關手続

卷一

恆夕

刑事訴訟法第百十條ノ規定ノ次ニ第百十條ノ一トシテ左ノ規定ヲ

恆夕

「拘留停止ノ申請却下セラレタルトキハ二十日ヲ経過スルニ非ザレハ同一原由ヲ以テ更ニ申請ヲ反覆スルコトヲ得ス」

[illegible]

第五條

刑事訴訟法第二百四十四條ノ規定ヲ左ノ如ク改ム
「第一審辯論終結前被告ニ他ノ犯罪アルコトヲ發見シ追加シテ起
訴スヘキ場合ニ於テハ審判期日ニ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得」

裁判官ハ被告ノ陳述ヲ聽クニ當リ
其ノ陳述ハ事實ノ真相ヲ明カスルニ必要ナル場合ニ於テハ
第一審辯論終結前被告ニ他ノ犯罪アルコトヲ發見シ追加シ
て起訴スヘキ場合ニ於テハ審判期日ニ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコ
トヲ得

第六條

刑事訴訟法第二百九十七條ノ規定中「其ノ許可ヲ受ケスシテ退庭
シタルトキ亦同シ」トアルヲ削除シ之ニ代フルニ
「其ノ許可ヲ受ケスシテ退庭シ又ハ公判庭ノ秩序維持ノ爲メ審判
長ヨリ退庭ヲ命セラレタルトキ亦同シ」ナル規定ヲ以テス

機宜論

第一、本條ノ規定ハ、公判庭ノ秩序維持ノ爲メ、審判長ヨリ退庭ヲ命セラレタルトキ、亦同シトシ、其ノ許可ヲ受ケスシテ退庭シタルトキ亦同シトアルヲ削除シ、之ニ代フルニ「其ノ許可ヲ受ケスシテ退庭シ又ハ公判庭ノ秩序維持ノ爲メ審判長ヨリ退庭ヲ命セラレタルトキ亦同シ」ナル規定ヲ以テス

第七條

刑事訴訟法第二百九十八條ニ第二項トシテ左ノ規定ヲ置ク
「其ノ他ノ場合ニ於テ被告正當ノ理由ナク審判期日ニ出頭セサルコ
ト連續二回ニ及ビタルトキ亦同シ」

[illegible]

卷之四

第一條

27

OPCARD TO

第二條

刑事訴訟法第二百六十七條ノ次ニ第二百六十七條ノ一及ヒ二トシ
テ左ノ規定ヲ置ク

「第二百六十七條ノ一 陪席推事及ヒ檢察官ハ 審判長ニ告ケ

被告、證人、鑑定人又ハ通譯ヲ訊問スルコトヲ得

辯護人ハ審判長ノ許可ヲ受ケ被告、證人、鑑定人又ハ通譯ヲ訊問

スルコトヲ得

被告及ヒ自訴人ハ必要トスル事項ニ付キ共同被告、證人、鑑定人

又ハ通譯ヲ訊問スヘキコトヲ 審判長ニ請求スルコトヲ得」

「第二百六十七條ノ二 審判長ハ陪席推事ヲシテ 被告訊問及證

據問ヲ爲サシムルコトヲ得」

（中）三十七條、第二十七回條及

[illegible]

QPCARD 10

30

第四條

刑事訴訟法第二百七十八條ノ規定ニ「前五條ノ規定ヲ準用ス」トアルヲ「第二百六十七條ノ一、第二百七十(四)條乃至第二百七十六條ノ規定ヲ準用ス」ニ改ム

ホニ百七十七條ノ一、

五條ノ四

第三條
刑事訴訟法第二百七十八條ノ規定ニ「前五條ノ規定ヲ準用ス」トアルヲ「第二百六十七條ノ一、第二百七十(四)條乃至第二百七十六條ノ規定ヲ準用ス」ニ改ム

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

「第二百四十四條ノ二」法院ハ第一審辯論終結前被告ニ他ノ犯罪
アルコトヲ發見シ現ニ審判中ノ案件ト共ニ審判スルヲ相當ト認ム
ルトキハ追加シテ起訴スヘキコトヲ檢察廳ニ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ審判期日ニ於テハ口頭
ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
口頭ニ依ル請求ヲ爲シタルトキハ其ノ旨圖書ニ記載スヘシ
檢察廳第一項ノ請求理由ナシト認ムルトキハ不起訴處分ヲ爲スヘ
シ此ノ處分ニ對シテハ不服申立ヲ許サス

第五章 裁判方針ノ自由

第一條

刑事訴訟法第二百四十四條ノ規定ノ次ニ第二百四十四條ノ二トシ
テ左ノ規定ヲ假ク

「第二百四十四條ノ二」法院ハ第一審辯論終結前被告ニ他ノ犯罪
アルコトヲ發見シ現ニ審判中ノ案件ト共ニ審判スルヲ相當ト認ム
ルトキハ追加シテ起訴スヘキコトヲ檢察廳ニ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ審判期日ニ於テハ口頭
ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
口頭ニ依ル請求ヲ爲シタルトキハ其ノ旨圖書ニ記載スヘシ
檢察廳第一項ノ請求理由ナシト認ムルトキハ不起訴處分ヲ爲スヘ
シ此ノ處分ニ對シテハ不服申立ヲ許サス

第一條

第六章 證據方法ノ自由

刑事訴訟法第七十七條ノ規定ノ次ニ第七十七條ノ一及ヒ二ト
シテ左ノ規定ヲ置ク
「第七十七條ノ一 證人ニハ供述ノ内容ト關係アル文書、帳
簿其ノ他ノ書類ヲ閲覧シツツ供述スルコトヲ許スコトヲ得
第七十七條ノ二 證人ニハ文書、帳簿、書類、圖畫又ハ物件ヲ
携帶シ若ハ必要ナル準備又ハ
指置ヲ證シテ出頭スヘキコトヲ命
スルコトヲ得」

附二條

証人ニハ國籍ニ
依テ權利義務ニ
差支ルコトナシ
第二百三十三條、第二百六十二條、第二百三十二條、

OPCARD 10

第三條

刑事訴訟法第二百七十條ノ規定ノ次ニ第二百七十一條ノニトシテ
左ノ規定ヲ置ク

「被告其ノ他ノ者ノ供述ヲ錄取シタル書類ニシテ軍法官署又ハ政
府ノ領域内ニアル外國ノ捜査又ハ審判機關ノ職務上作製シタルモ
ノハ證據ト爲スコトヲ得」

附二條

前條ノ規定ハ證據イタルモノ
ニ就テ證據ニ爲ルニ必要ナルモノ
ニシテ證據ニ爲ルモノハ人モモノモ
「被告、審判官又ハ審判官ハ其ノ職務上 公衆面前ニ就テ取
得シタルモノ」
前條ノ規定ニ依リテ得タルモノハ證據ト爲ルモノニシテ
前條ノ規定ニ依リテ得タルモノハ證據ト爲ルモノニシテ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

第七章 嚴格規定ノ續和

刑事訴訟法第四十七條ノ規定ヲ左ノ如ク改ム

意如斯

第二條

刑事訴訟法第七十一條ノ規定ノ次ニ第七十一條ノ二トシテ左ノ規定ヲ置ク

「法院又ハ檢察廳ハ急遽ヲ要スル場合ニ於テハ召喚狀ヲ用フルコトナク口頭、電信、電話又ハ其ノ他ノ方法ニ因リ被告ニ告知シテ法院又ハ檢察廳ニ出頭ヲ命スルコトヲ得

前項ノ出頭命令ハ推事、檢察官、書記官、執達員又ハ庭丁之ヲ被告ニ傳達スヘシ 被告監獄、看守所又ハ警察署ニ在ルトキハ其ノ長官ニ通知スルヲ以テ足ル
被告本條ノ規定ニ依リ出頭シタルトキハ其ノ旨記録ニ記載スヘシ」

「被告は、急遽を要する場合には、口頭、電信、電話その他の方法により、被告に通知して、法院又は検察庁に出頭を命ずることができ、前項の出頭命令は、検事、検察官、書記官、執達員又は庭丁の被告に传达する。被告が監獄、看守所又は警察署に在る場合は、その長官に通知するに足りる。被告は、本条の規定により出頭したときは、その旨を記録に記載する。」

第三十條 通計員、記録員

第三條

刑事訴訟法第九十三條ノ規定ニ「二十四時間」トアルヲ「四十八時間」ニ改ム

38

Op CARD 10

Op CARD 10

33

第四條
刑事訴訟法第百一條ノ規定ニ但書トシテ左ノ規定ヲ附加ス
「但シ 被告逃亡シタルトキハ訊問ヲ爲サスシテ勾留スルコトヲ
得」

第三條
「第二條ノ規定ニ依リテ二十箇年以内ノ期間ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得」
「第二條ノ規定ニ依リテ二十箇年以内ノ期間ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得」
「第二條ノ規定ニ依リテ二十箇年以内ノ期間ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得」

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

第五條

刑事訴訟法第四百十六條第一項但書中「急迫ノ情形ニアルトキハ此ノ限ニ在ラス」トアルヲ「急迫ノ事情アルトキ又ハ内亂、外患ノ罪其ノ他政權ノ存立ヲ危殆ナラシムル罪ニ關スル場合ハ此ノ限ニ在ラス」ト改ム

一 急迫ノ情形ニ在リテハ
二 急迫ノ事情ニ在リテハ
三 急迫ノ事情ニ在リテハ
四 急迫ノ事情ニ在リテハ
五 急迫ノ事情ニ在リテハ
六 急迫ノ事情ニ在リテハ
七 急迫ノ事情ニ在リテハ
八 急迫ノ事情ニ在リテハ
九 急迫ノ事情ニ在リテハ
十 急迫ノ事情ニ在リテハ

第一條

第八章 關席判決手續

刑事訴訟法第七編ノ表題「略式手續」トアルヲ「特別手續」ニ
 改メ且同編ヲ「第一章略式手續第二章關席手續」ノ二章ニ分チ第
 一章中ニ第四百四十二條乃至第四百五十九條ノ規定ヲ置キ第二章ニ
 左ノ規定ヲ置ク

第四百五十九條ノ二 檢察廳刑事訴訟法第二百三十條第二項ノ規定
 ニ因リ公訴ヲ提起シタル場合又ハ公訴提起後被告逃亡シタル場合ニ
 シテ公安維持ノ爲即時ニ判決ヲ必要ト^{（資料）}スルトキハ法院ニ對シ被
 告關席ノ體判決スヘキコトヲ請求スルコトヲ得但シ被告カ政府ノ領
 域外ニ在ルモノト推定スヘキトキハ即時ニ引致スルコト能ハサルト
 キ又ハ其ノ引渡ヲ受クルコト能ハサル場合ニ非サレハ之ヲ爲スコト
 ヲ得ス被告カ政府領域内ニ潛伏スルモノト推定スヘキトキハ其ノ所
 在ヲ知ルコト能ハサル場合ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

十日以上ニ當テ
 其後被告逃亡ニ至ルハ十六時ノ前ニ「十五日以上」イテ
 三

27

“西土”

OP CARD 10

OpCARD 10

八 國席
 一 國席
 二 國席
 三 國席
 四 國席
 五 國席
 六 國席
 七 國席
 八 國席
 九 國席
 十 國席
 十一 國席
 十二 國席
 十三 國席
 十四 國席
 十五 國席
 十六 國席
 十七 國席
 十八 國席
 十九 國席
 二十 國席
 二十一 國席
 二十二 國席
 二十三 國席
 二十四 國席
 二十五 國席
 二十六 國席
 二十七 國席
 二十八 國席
 二十九 國席
 三十 國席
 三十一 國席
 三十二 國席
 三十三 國席
 三十四 國席
 三十五 國席
 三十六 國席
 三十七 國席
 三十八 國席
 三十九 國席
 四十 國席
 四十一 國席
 四十二 國席
 四十三 國席
 四十四 國席
 四十五 國席
 四十六 國席
 四十七 國席
 四十八 國席
 四十九 國席
 五十 國席
 五十一 國席
 五十二 國席
 五十三 國席
 五十四 國席
 五十五 國席
 五十六 國席
 五十七 國席
 五十八 國席
 五十九 國席
 六十 國席
 六十一 國席
 六十二 國席
 六十三 國席
 六十四 國席
 六十五 國席
 六十六 國席
 六十七 國席
 六十八 國席
 六十九 國席
 七十 國席
 七十一 國席
 七十二 國席
 七十三 國席
 七十四 國席
 七十五 國席
 七十六 國席
 七十七 國席
 七十八 國席
 七十九 國席
 八十 國席
 八十一 國席
 八十二 國席
 八十三 國席
 八十四 國席
 八十五 國席
 八十六 國席
 八十七 國席
 八十八 國席
 八十九 國席
 九十 國席
 九十一 國席
 九十二 國席
 九十三 國席
 九十四 國席
 九十五 國席
 九十六 國席
 九十七 國席
 九十八 國席
 九十九 國席
 一百 國席

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040

十二 故障ノ申立ヲ受理シタルハ更ニ通常ノ手續ニ從ヒ審判ヲ
 為スヘシ此ノ場合ニ於テ被告正當ノ理由ナク審判期日ニ出頭セ
 ザルトキハ法院ハ檢察廳ノ意見ヲ聽キ裁定ラセテ
 故障ヲ承認スヘシ此裁定ニ對シテハ抗告ヲ為スコト
 ヲ得ヌ

十一 急遽手續ニ依ル判決ヲ付シ檢察廳上訴ヲ為サントスルトキ
 ハ判決宣告ノ日より十日内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

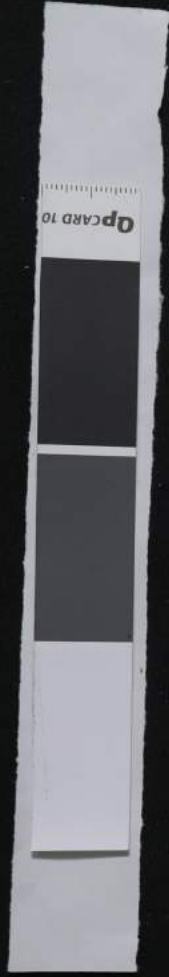
十三 被告ノ故障ノ申立ニ主印セザレタルトキハ被告ヨリ上訴ノ申立
 テアリタルモノト看做ス
 故障ノ申立ヲ受理シタルトキハ檢察廳ノ上訴ノ申立ハ其ノ
 效力ヲ失フ

Op CARD 10





Handwritten text on a piece of aged paper, possibly a ledger or account book. The text is written in cursive and is mostly illegible due to fading. It appears to be organized into columns, with some numbers visible. A small metal clip is attached to the top left corner of the paper.



法院前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ裁定ヲ以テ開席審判ノ開始ヲ命スヘシ

法院第一項ノ請求理由ナシト認ムルトキハ裁定ヲ以テ請求ヲ却下スヘシ此ノ裁定ニ對シテハ抗告スルコトヲ得ス

第四百五十九條ノ二 開席手續ニ於テハ本法ノ規定中被告ノ不在ニ因リ遵守スルコト能ハサルモノ及ヒ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除キ通常手續ニ關スル規定ヲ適用ス

第四百五十九條ノ三 開席審判ノ開始ヲ命スルノ裁定ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 被告ノ氏名、年齢、職業、最後ノ住居、本籍

二 公訴事實

三 審判ヲ爲スヘキ法院及ヒ審判期日

前項ノ裁定アリタルトキハ其ノ旨法院ノ揭示所ニ公告スヘシ

前項ノ被告モ其ノハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第二 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第三 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第四 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第五 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第六 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第七 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第八 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第九 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ
第十 被告ノ住所不明ナルハ其ノ官署ニ於テ公告スヘシ

第四百五十九條ノ四 開席審判ノ開始ヲ命スルノ裁定ハ前條ノ公告アリタル日ヨリ十日ヲ經テ其ノ效力ヲ生ス

第四百五十九條ノ五 法院開席手續ヲ開始シタル場合ニ於テ被告ノ在庭ヲ必要ト認ムルトキハ檢察廳ノ意見ヲ聽キ裁定ヲ以テ手續ヲ停止スヘシ此ノ裁定ニ對シテハ抗告スルコトヲ得ス

第四百五十九條ノ六 開席手續ニ於テ言渡シタル判決ハ公示送達ヲ爲スヘシ

前項ノ公示送達ノ效力發生前被告逮捕セラレ又ハ其ノ所在判明シタルトキハ改メテ判決ノ正本ヲ送達スヘシ

第四百五十九條ノ七 前條ノ判決ノ正本送達後十日内ニ被告ハ手續反覆ノ申立ヲ爲スコトヲ得法院ハ檢察廳ノ意見ヲ聽キ前項ノ申立ニ對シ裁定ヲ以テ其ノ許可ヲ決スヘシ

第四百五十九條ノ八 被告手續反覆ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テ該申立却下セラレタルトキハ上訴ノ申立アリタルモノト看做ス



[illegible]

第四百五十九條ノ九 同時ニ手續反覆ノ申立及上訴ノ申立アリタル場合ニ於テ手續反覆ノ申立ヲ許ス旨ノ裁定アリタルトキハ上訴ノ申立ハ其ノ效力ヲ失フ

第一條

第九章 沒收手續並沒收ノ執行ニ關スル規定ノ改正

刑事訴訟法第二百三十八條ノ規定ノ次ニ第二百三十八條ノ一乃至四トシテ左ノ規定ヲ置ク

第二百三十八條ノ一 檢察廳不起訴ノ處分ヲ爲シタル場合ニ於テ沒收ノミヲ科スヘキモノト思料スルトキハ管轄法院ニ其ノ處分ヲ請求スヘシ

前項ノ請求ヲ爲スニハ處分ヲ受クヘキ者ノ氏名、年齢、住居、請求ノ理由及ヒ目的物ヲ記載シタル請求書ヲ記録ト共ニ管轄法院ニ提出スヘシ

第二百三十八條ノ二 前條ノ請求ハ被告死亡シタルニ因リ不起訴ノ處分ヲ爲ストキト雖モ之ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニハ死亡者ノ相續人ニ對シ沒收ヲ科ス

第二百三十八條ノ三 前二條ノ請求アリタルトキハ法院ハ裁定ヲ爲スヘシ

47

第四卷 第二十三回

前項ノ裁定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得
第二百三十八條ノ四 前條ノ裁定ハ處分ヲ受ケタル者ノ相續人ニ對シ
テモ效力ヲ有ス

第二百三十八號ノ三 第二款ノ請求アリキハ其後ハ請求セザ
 ルハ便宜ノ爲メナリ
 第二百三十八號ノ二 條ノ請求アリキハ其後ハ請求セザ
 ルハ便宜ノ爲メナリ
 第二百三十八號ノ一 條ノ請求アリキハ其後ハ請求セザ
 ルハ便宜ノ爲メナリ

自太宰府、豐前、豐後、肥前、肥後、大分、山口、廣島、岡山、香川、愛媛、高松、德島、高知、宮崎、鹿兒島、那霸、

第三十九條

第一條

第十章 其ノ他ノ改正

刑事訴訟法第四百八條ノ規定中「或ハ檢察官」トアルヲ削除シ第四
 百一十一條ノ規定ノ次ニ第四百一十一條ノ一トシテ左ノ規定ヲ置ク
 「第四百一十一條ノ一 檢察廳ノ爲シタル勾留、保證、責付、押收又
 ハ押收物ノ還付及ヒ鑑定ノ爲メ檢告ヲ醫院又ハ其ノ他ノ場所ニ送入ス
 ル處分證人、鑑定人又ハ通譯ニ對シ過料ヲ科スル處分ニ對シ不服ア
 ルトキハ直接上級檢察廳ニ其ノ取消又ハ變更ヲ申請スルコトヲ得
 第四百八條第二項、第四百九條、第四百十條第一項、第四百一十一條ノ
 規定ハ前項ノ場合ニ付キ之ヲ準用ス」

第二條

「前條ノ規定ニ依リテ其ノ爲メ檢告ヲ醫院又ハ其ノ他ノ場所ニ送入ス
 ル處分證人、鑑定人又ハ通譯ニ對シ過料ヲ科スル處分ニ對シ不服ア
 ルトキハ直接上級檢察廳ニ其ノ取消又ハ變更ヲ申請スルコトヲ得
 第四百八條第二項、第四百九條、第四百十條第一項、第四百一十一條ノ
 規定ハ前項ノ場合ニ付キ之ヲ準用ス」

第二條
刑事訴訟法第四百九十三條第一項ノ規定中「第六條第二項」ナル字
句ノ次ニ「第三項」ヲ加フ

[illegible]

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

上田光敏 旧蔵

抄入本ニ「新三原」ニ載ス
際等相傳新書四百六十三卷第一巻ノ腰中「新六辨三原」ニ
載ス

OpCARD 10